



この本の「34歳で死んだ人々」の頁を開いてみよう。

近藤勇。「…近藤は、たちまち縛りあげられて、(中略)四月二十五日、宿はずれの平尾一里塚(今の板橋駅東口あたり)で斬首された。首はここで数日さらされた上、京都に送られ、三条河原でふたたびさらしものになった」。

この頁には、他にも史上初めて宇宙から地球を眺めたガガーリンの名もある。

「人間臨終凶巻」は、この地上に生き

姉小路公知 沖田総司 樋口一葉
滝廉太郎 ジェームス・ディーン

24歳で死んだ人々



た英雄、武将、政治家、作家、芸術家、芸能人、さらに犯罪者たちの死に様が享年別にまとめられている異色な「凶巻」だ。享年から、その年齢で死んだ人々の最期を引くことになる。15歳から121歳、荘厳、悲壮、凄惨、哀切、無意味、有意味、あらゆる死のタイプがここにはある。

この本の特徴はなんと言っても、足利義政とデカルト(54歳で死んだ人々)、玄奘三蔵と豊田秀吉(62歳で死んだ人々)などの死が同じ頁に描かれていることだろう。全く違う時代に生き、全く

81歳で死んだ人々

則天武后 山本権兵衛 ムンク
土井晩翠 ヒッチコック 小林秀雄

違う人生を歩んだ人々が、享年別というその人の属性、業績とは無関係な切り口で分類されているのだ。タブーとされる「死」をこれほどまで軽々と乗り越えてしまっているところに、奇妙な感じを覚え、同時に著者山田風太郎の作為的な意図を感じる。

人間は死においては絶対的に平等である。それが、「死こそ絶対」と遺言に残した著者の一貫したテーマなのかもしれない。(apis)



MUSIC YOSHII LOVINSON at the BLACK HOLE

- | | |
|-----------------------|--|
| 01. 20GO | 06. FALLIN' FALLIN' |
| 02. TALI | 07. SPIRIT'S COMING (GET OUT I LOVE ROLLING STONES) |
| 03. CALIFORNIAN RIDER | 08. BLACK COCK'S HORSE |
| 04. SADE JOPLIN | 09. SWEET CANDY RAIN |
| 05. SIDE BY SIDE | 10. AT THE BLACK HOLE |

僕は今、このアルバム『at the BLACK HOLE』を買ってきて、繰り返し2回聴いたところだ。

僕は混乱していた。何だろう、この妙な感触は。世界がぐにやりと形を変えてしまったような感覚。それでいて、決して嫌悪感が湧いてこないのはなぜだろう。むしろ、曲そのものは実に心地よく聴けてしまう。いや、だからこそ、その不思議な心地よさがあるからこそ、僕はこの『ブラックホール』にいつの間にか引きずり込まれてしまいそうで怖くなる。

歌われているのは『闇』——この男、『YOSHII LOVINSON』という奇妙な名前の男が持つ、巨大な心の闇だ。意識の底から拾い上げた単語をそのまま繋げたかのような、不可解で不気味な歌詞。「セミダブル溺死体(FALLIN' FALLIN')」、「暇

つぶしダニのゲーム(BLACK COCK'S HORSE)」…その合間に覗く切ない直球の本音。「そばに来て 会いに来て(20GO)」、「無理に笑うのよせ(SIDE BY SIDE)」…。こんな歌を、もし歌い手が声を限りに叫んでいるのだったら、僕はここまでは混乱しなかつただろう。助けを求めて泣き叫んでいるのだったら。しかしこの男は、淡々と乾いた声で、目の前の相手に話しかけるように歌う。だから聴いていると、例えばいつも隣にいる友達、電車でたまたま隣に座った人、そういったごくごく普通の人の心に実は潜んでいる『闇』を垣間見てしまった気分になって、思わずぞっとする。

それなのに、その『闇』が不思議に心地よく懐かしいのはなぜか? 答えは簡単だ。僕自身もまた例外でなく、闇を抱

えているからだ。誰もが心に闇を持っている。世の中にはたくさんの暗闇がある。そう思うことは絶望かもしれない。それでも、この男は「一寸先の闇で木っ端微塵になってもおびえることなど何もない(TALI)」と歌う。「認めろ 諦めろ 諦めなきや始まらないこともあるんだ(SPIRIT'S COMING)」とも。ブラックホールに立っていることを認め、そこで生活していく、と彼は決意したのだ。

では僕はどうかだろう。のんきな大学生活も半ばを過ぎ、闇から目をそらしている時間もあとわずかだ。自分の心の闇、他人の心の闇、そして現実社会という闇——これからは闇を直視し、認めてゆかなければならない。では、あなたはどうかですか? 『闇』を見つめて生きる覚悟はありますか? (ロビ)

はみだし すてーじ

大学にいる期間が既に小学校(6年間)を超えていることに気付いて悲しくなる今日この頃(現在D2)
⇒本当、いつになったら学校から出られるんだろう…。

(農・院 みずぼん)
(就職無理学部な編)